

【数学科の目標】
(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期（48）	二学期（54）	三学期（38）
【4月～5月】 0章 算数から数学へ(3) 「整数の性質」 1章 数の世界をひろげよう[正負の数](24) 「符号のついた数」「数の大小」「加法」「減法」「乗法」「除法」「四則の混じった計算」「正負の数の利用」 ※ワーク、単元テストで評価	【9月～10月】 3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式](12) 「いろいろな方程式」「1次方程式の利用」「比例式の利用」 ※ワーク、単元テストで評価	【1月】 6章 立体の見方をひろげよう[空間図形](18) 「いろいろな立体」「直線や平面の位置」「面の動き」「立体の展開図」「立体の投影図」「体積」「表面積」「球の体積と表面積」 ※ワーク、単元テストで評価
【5月～6月】 2章 数学のことばを身につけよう [文字と式](17) 「文字の使用」「文字を使った式の表し方」「代入と式の値」「1次式の計算」「数の表し方」「数量の間の関係の表し方」 ※ワーク、単元テストで評価	【10月～11月】 4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例](21) 「関数」「比例と反比例」「比例の表と式」「比例のグラフ」「反比例の表と式」「反比例のグラフ」「比例と反比例の利用」 ※ワーク、単元テストで評価	【2月】 7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用](10) 「データの分布の見方」「データの分布の特徴の表し方」「起こりやすさの表し方」 ※ワーク、単元テストで評価
【6月～7月】 3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式](4) 「方程式とその解」「方程式の解き方」 ※ワーク、単元テストで評価	【12月】 5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形](21) 「図形の移動」「作図のしかた」「基本の作図」「いろいろな作図」「おうぎ形」 ※ワーク、単元テストで評価	【3月】 1年生のまとめ(10) 総合問題

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・定期テスト ・単元テスト ・長期休業明けテスト など	・各テストは「知識・技能の観点」と「思考力・判断力・表現力の観点」を合わせて100点満点とする。
II	<思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・定期テスト ・単元テスト ・長期休業明けテスト など	・各テストは「知識・技能の観点」と「思考力・判断力・表現力の観点」を合わせて100点満点とする。
III	<主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 [平常点] ・提出物 ・テスト直しレポート ・宿題 (ワーク等) など	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 [平常点] ・提出物（ワーク等）は原則として、A、B、C、Dで評価する。